

食の未来を担うZ世代の意識や行動を変える取組

食の未来を担うZ世代の大学生・高校生を対象に、講義のほか多様な情報提供を行い、食への意識や行動変容を促すきっかけ作りに取り組んだ。

○ 施策分類

その他（ニッポンフードシフト、中国四国農政局におけるみどりの食料システム戦略アクションプラン（以下、「アクションプラン」という）ほか）

○ きっかけ・背景、課題の把握

ニッポンフードシフト、アクションプランでは、消費者等への働きかけや周知の取り組みを積極的に進めているところである。特に、食の未来を担うZ世代に対する周知や理解醸成は不可欠と考え、農業や食に関する学科等がある県内の大学や高校等に対し、学生への説明の機会を得るため働きかけを行うに至った。

○ 取組の内容

令和6年4月から12月の間において、大学8回（学校数5校）、農業技術大学校1回、高校1回の講義を開催するとともに、大学のオープンキャンパスにおいて、パネル展示等を実施した。

○ 効果・成果、今後の方向性

講義に参加した学生からは、「環境負荷低減の取り組みや将来を見据えた活動にこれからも積極的に触れてみたい。」や「農林水産業の課題が自分達にも大きく関わる問題であると知り、他人ごとにはいけないと感じた。」等の感想が寄せられ、理解醸成に寄与することが出来た。また、オープンキャンパスに関しては、翌年度以降もパネル展示等を実施してほしいとの要望を受けており、今後も継続した周知活動を実施することとしている。



講義を熱心に聞く大学生



みどり戦略の説明



ニッポンフードシフトの説明



オープンキャンパスでの展示

体制図

